

「故郷へ、故郷へ、故郷へ」

北朝鮮に拉致された日本人を奪還する会・大阪(救う会大阪) 事務局 増木重夫
 〒560-0085 大阪府豊中市柴原町1-3-25-506
 TEL 090-3710-4815 FAX 06-6835-0974

怒い! の月例街頭署名

月 日	5月13日(土)
開始時刻	11:30~
会 場	JR芦屋駅南側~ルナホール (JR芦屋駅南側出口集合)

活動を小休止し、充電してまいりました「救う会大阪」はエンジン全開!“闘う”集団として活動を再開いたします。一昨年、ゼネコンが揃って北朝鮮詣でをするという出来事がございました。そのとき私たちは、即、ゼネコンに直接抗議する計画を立てました。ところが、全国協議会からの指示で中止せざるを得ませんでした。今後は毅然と対処します。「救う会大阪」は今まで以上に“闘う集団”として活動します。

さて、救う会全国協議会の現在の具体的な活動方針は「経済制裁」です。経済制裁は当然しなければなりません。しかし、中国、ロシア等、ことの大小はあれ北朝鮮に支援する昨今、それが決定的な拉致問題の解決になるのでしょうか。それならどうすればいいのか。北朝鮮の沖にイージス艦を2~3杯停め交渉すれば、即解決するのではないのでしょうか。また、二度とこのような拉致問題は生じないと思います。

少なくとも、自国民を救出しなければならぬときくらいはさっと行動出来る軍事力、不当な行動を抑止する軍事力が無かったことが、拉致問題が生じた根本原因ではないのでしょうか。そのためには遅まきながら、平和を護るためには闘えるような憲法に改正するしか方法はないと思います。私たちは、他国を侵略する憲法を作れと言っているわけではありません。最大の人権侵害『拉致』の解決。「救う会大阪」は全国民の人権を確実に護るため、二度とこのようは悲劇を繰り返さないため、今後、憲法改正を求め活動してまいります。各位のご協力、ご支援をお願いいたします。

だれよりも**人権**を大事に思う「救う会大阪」は、
 自国民を即座に救出できるような**憲法改正**
 を求めます

先日、下記のようなビラが芦屋市内に撒かれました。
最後まで「『拉致』などなかった。」と言い張っていた土井元党首。
だれが考えても、軍隊が無い国だから、その国民が拉致されたわけで、
この現実をオタカさんはどう説明するのでしょうか。マイクを持って、ビ
ラを撒いて、一言言わないわけにはいかないと思います。

